

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書 (イ-⑮)

年 月 日

高根沢町長 あて

申請者

住 所 _____

氏 名 _____ 印

(名称及び代表者の氏名)

私は、表に記載する業を営んでいるが、新型コロナウイルス感染症の発生の影響に起因して、下記のとおり、(注2)が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いします。

記

(表)

※表には、指定業種であって、売上高等の減少が生じている事業が属する業種(日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名)を記載。当該指定業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する指定業種を左上の太枠に記載。

売上高等

(1) 令和元年10月から12月の企業全体の平均売上高等に対する、上記の表に記載した指定業種(以下同じ。)に属する事業の最近1ヶ月間の売上高等の減少額等の割合

(イ) 最近1か月間の売上高等

$$\frac{(B/3) - A}{C/3} \times 100 \quad \text{割合} \quad \%$$

A : 申込時点における最近1か月間の指定業種に属する事業の売上高等 _____ 円

B : 令和元年10月から12月の指定業種に属する事業の売上高等 _____ 円

C : 令和元年10月から12月の企業全体の売上高等 _____ 円

(ロ) 最近3か月間の売上高等の実績見込み

$$\frac{B - (A + D)}{C} \times 100 \quad \text{割合} \quad \%$$

D : Aの期間後2か月間の指定業種に属する事業の見込み売上高等 _____ 円

(2) 企業全体の売上高等の減少率

(イ) 最近1か月間の売上高等

$$\frac{C/3 - E}{C/3} \times 100 \quad \text{減少率} \quad \%$$

E : Aの期間に対応する企業全体の売上高等 _____ 円

(ロ) 最近3か月間の売上高等の実績見込み

$$\frac{C - (E + F)}{C} \times 100 \quad \text{減少率} \quad \%$$

F : Eの期間後2か月間の企業全体の見込み売上高等 _____ 円

(注1) 本様式は、前年以降、事業拡大等により前年比較が適当でない特段の事情がある場合で、指定業種に属する事業の売上高等の減少が申請者全体の売上高等に相当程度の影響を与えていることによって、申請者全体の売上高等が認定基準を満たす場合に使

用する。

(注2) ○○○には、「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を入れる。

(留意事項)

- ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
- ② 市町村長又は特別区長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

高産第 号

令和 年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期限：令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

認定者名 高根沢町長 加藤 公博

[中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書（イ-⑮）の計算書]
 〈令和元年10月から12月と比較して売上が5%以上減少している場合〉

申請者

氏名 _____ 印

(表1-1：最近1か月間の指定業種に属する事業の売上高等)

ア 売上が減少している指定業種 (※1)	最近1か月間の売上高等 (年 月)
業	円
業	円
業	円
合計	A 円

(表1-2：令和元年10月から12月の指定業種に属する事業の見込み売上高等)

ア 売上が減少している指定業種 (※1)	区分	令和元年10月から12月の売上高
業	令和元年10月	円
	令和元年11月	円
	令和元年12月	円
1 計		【a】 円

ア 売上が減少している指定業種 (※1)	区分	令和元年10月から12月の売上高
業	令和元年10月	円
	令和元年11月	円
	令和元年12月	円
2 計		【b】 円

ア 売上が減少している指定業種 (※1)	区分	令和元年10月から12月の売上高
業	令和元年10月	円
	令和元年11月	円
	令和元年12月	円
3 計		【c】 円
合計 (1+2+3)		B 【a+b+c】 円

(表1-3：Aの期間後2か月間の指定業種に属する事業の見込み売上等)

ア 売上が減少している指定業種 (※1)	区分	[A]の期間後2か月の見込み売上等 (年 月～ 年 月)
業	月	円
	月	円
1 計		【d】 円

ア 売上が減少している指定業種 (※1)	区分	[A]の期間後2か月の見込み売上等 (年 月～ 年 月)
業	月	円
	月	円
2 計		【e】 円

ア 売上が減少している指定業種 (※1)	区分	[A]の期間後2か月の見込み売上等 (年 月～ 年 月)
業	月	円
	月	円
3 計		【f】 円
合計(1+2+3)		D【a+b+c】 円

※1：認定申請書の表には、ア欄に記載する指定業種（日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名）と同じ業種を記載。ア欄には売上が把握できている指定業種のみ記載でも可。

※2：指定業種の売上高を合算して記載することも可。

(表2-1：全体の売上高（[A]の期間に対応する最近1か月）

最近1か月の売上高 (年 月)
【E】 円

(表2-2：全体の売上高（令和元年10月から12月の売上高）

区分	令和元年10月から12月の売上高
令和元年10月	円
令和元年11月	円
令和元年12月	円
合計	【C】 円

(表2-3：全体の売上高（[E]の期間後2か月間の見込み売上等）

区分	[E]の期間後2か月間の見込み売上等 (年 月～ 年 月)
月	円
月	円
合計	【F】 円

(1) 指定業種に属する事業の最近1ヶ月間の売上高等【5%以上の減少が要件】

(イ) 最近1か月間の売上高等

$$\frac{([\text{B}] / 3 \text{ 円}) - ([\text{A}] \text{ 円})}{([\text{C}] / 3 \text{ 円})} \times 100 = \underline{\hspace{2cm}} \% \text{【実績】}$$

(ロ) 最近3か月間の売上高等の実績見込み

$$\frac{([\text{B}] \text{ 円}) - ([\text{A}] + [\text{D}] \text{ 円})}{([\text{C}] \text{ 円})} \times 100$$

$$= \underline{\hspace{2cm}} \% \text{【実績見込み5%以上】}$$

(2) 企業全体の売上高等【5%以上の減少が要件】

(イ) 最近1か月間の売上高等

$$\frac{([\text{C}] / 3 \text{ 円}) - ([\text{E}] \text{ 円})}{([\text{C}] / 3 \text{ 円})} \times 100 = \underline{\hspace{2cm}} \% \text{【実績】}$$

(ロ) 最近3か月間の売上高等の実績見込み

$$\frac{([\text{C}] \text{ 円}) - ([\text{E}] + [\text{F}] \text{ 円})}{([\text{C}] \text{ 円})} \times 100$$

$$= \underline{\hspace{2cm}} \% \text{【実績見込み5%以上】}$$

(注) 認定申請にあたっては、表1に記載している指定業種に属する事業を営んでいることが疎明できる書類等(例えば、取り扱っている製品・サービス等を疎明できる書類、許認可証など)や、上記の売上高が分かる書類等(例えば、試算表や売上台帳など)の提出が必要。